

## 議長ティータイム

日時：令和3年12月28日（月）午後3時～

場所：議長執務室

---

### 1 今定例会を振り返って

（議長）

今日は仕事納めのお忙しい日に、臨機応変に来ていただきありがとうございます。簡単に、皆さんのお手持ち資料を基に読み上げていきたいと思えます。「今定例会を振り返って」ですけれども「今定例会で可決された意見書等について」は「①軽石の大量漂流・漂着に関する意見書」と、あと「②米軍 MV22 オスプレイからの水筒落下事故に関する意見書／抗議決議」、それから「③おきなわ彩発見キャンペーン事業の推進に関する決議」についてであります。

そして、「今定例会での補正予算について」については、その他議会改革として「県議会傍聴席での情報通信機器利用」も認め、また今度からではありますが「議長週間日程表の報道機関への情報提供」をしていく予定であります。

資料を見てもらいながらまずはその中から皆さんが聞きたいことがありましたら、質疑を取って進めていきたいと思えます。

（記者）

議長職をする中でこの1年間を振り返ってみて、感じたことなどはありますか。

（議長）

2月議会は予算の件で議会が深夜まで及んだり、初めからいろいろな議論がありました。特にワシントン事務所の予算や訴訟費用のこと、あとはコロナのことですね。今までコロナについての補正予算がずっと組まれている状況でしたので、今回の12月議会が一番意外とすんなりといったのかなという印象です。それ以外の議会では、もう何が起きるか分からないということで、議会事務局の局長も職員も皆、緊張しながら臨んでいましたので、職員からは「議会事務局としては、議会がすんなりいくのであれば、何かがおかしい」と言われるこ

とが多いくらい必ず何か起きるということでした。今回の議会についてはもちろん議論はあったと思うのですが、特にこの1年間は相変わらず沖縄県議会は活発だなという印象です。それから、議会が日曜日に開かれたりとコロナ禍なので1年を通してずっと議会をやっていると聞いた印象でした。

(記者)

5月頃でしたかね。議員とその行政当局とのやり取りに関してもハラスメントじゃないかといった、様々な質疑があったりと思いますが、それに対して今後議会改革などといった話があるのでしょうか。

(議長)

各派代表者会が開かれ、議会改革推進会議のほうで議論するということになりました。ハラスメントについては、議会としてはですね、双方の意見で、1つは職員が議員にそう言われたという話と、当議員はそうではないということですので、私たちとしてはそれ以上どうしようもないという状況ですのでコメントはしにくいのですが、ただ、いずれにしても、議会基本条例や、議会改革推進会議の中で、この件に特化したということではなく、やはり議論はしているということなので話が出ております。

(記者)

議長として今年1年を漢字1文字で表すとしたらどんな漢字が浮かびますか。

(議長)

議会というよりも一県民の立場として言うと、沖縄はコロナがずっとワーストが続いてきたので、議会としても予断を許されない状況が続いています。あとは陳情ですね。去年もそうなのですが今年もかなりの数の陳情が議会にも来ていて、いろいろと補償の問題やコロナに関する要請など、県側にも来ていると思うのですが、議会にも同じくらい来ていたんですね。やはりずっとコロナ禍で厳しい状況だということを各団体がずっとおっしゃっていたので、議会としての立場でもそうなんですけれど、私自身としての立場としても、県民の皆さんにとっても、この1年間は「耐」という字が一番ピンと来るんじゃないですかね。私自身もやはりずっと耐えてきた1年ですね。

(記者)

執行部側も「議会は何が起きるか分からない」ということで緊張感や思いもあり、また議会事務局と議長もやはり対極というか、そういった部分はどう思われますか。

(議長)

これは私たちは仕事ですので、特段私たちがどうこうではなく、しっかりと仕事をするのが役割だと思っています。さっき言ったように、コロナが増えたり減ったりするのと、あとワクチンの接種などいろいろなことが起きてですね、県民の皆さんはずっと耐えてきただろうなというところもある、という部分が一番大きいと思っています。私たち議会事務局としては、しっかりと応えていくというのが私たちの役割だと思っています。

(記者)

令和4年度に向けて議長職も含めてなんですけど、こういう県政でいったほうが良いという部分が何かありますか。

(議長)

来年度は復帰50年ですので、これまでの50年の総括も大事ですし、向こう50年をしっかりと示していく責任もあるのではないかと考えております。それが一番ですね。そして、先ほど耐える1年でしたということもお話したのですが、復帰50年ということで、歴史を伝えるのももちろんいいのですが、これからどうしたいかということを示すのが、私たち議会と政治家の仕事ではないかなと思いますので、これを文字で言うと「希望」ですね。希望というのは、来年度は復帰50年ですので、若い世代にそのことを示すような1年にしていきたいということは考えています。

(記者)

そういう感じを刻める1年になってほしいということですか。

(議長)

そうやってほしいですね。来年の1年ということだけではなくて、向こう50

年ということの最初の年になりますので、それをやはり希望をもって示していくということがあったほうが良いと思いますね。

(記者)

向こう 50 年や復帰 50 年ということはですね、知事が屋良建議書になぞらえてというか、建議書なり宣言なりをとというふうにおっしゃっていましたが、県民の意見も聞きながらということで、県民を代表してる議会の意見も多分聞かれるとは思いますが、これは議会としてどういう形で進めていくのですか。

(議長)

昨年度から全戦没者追悼式の議長挨拶について、いろいろな分野の識者の方々と意見交換をさせてもらい、いろいろな意見をまとめさせてもらっているんですね。ですので議長挨拶を含めて全戦没者追悼式に関してもそうですし、どういうふうにするかなど、もう既に今、識者の方々と相談しています。県民の意見というのは、すごくよい点と、また、どうやってこのよい点を拾おうかなどとよく分からないところもあるので、それも含めて、次年度の全戦没者追悼式についても早速何名かの識者の方々と相談していこうと思っております。私と知事とは一緒ではないので、この復帰 50 年の知事挨拶という部分があまりにも政治的になるとそこはすごく難しいところでもあるので、だからこそ議会の挨拶も今から少し練っていこうかと早速準備を開始しております。

(記者)

宣言などであれば知事が一方的に考えていてもいいのかなと思うのですが、建議書ということになると、議会と相談しながら一緒に挨拶するというのも一つの手なのかなと思いますかどうですか。

(議長)

なるほど、そうですね。これはちょっと分からないですけど直接はないんじゃないですかね。もし来たら別に断る理由はないんですけどね。

(記者)

今までの経緯ですと、勝手に挨拶をつくって勝手に出すという感じがします

けど、それで別にいいですよという、どうぞという意味なのでしょうか。

(議長)

さっきおっしゃたように、県民の意見を聞くということであれば、間違いなく一番の最高議決機関は議会になりますからそうなるんですよ。基本的には私たちもそう思うのです。ですので、何をもって県民かという話になります。だからそこは、どういう形で表しているかということは特段ここには相談はまだないですので、またこちらの挨拶もあるでしょうから、それは、執行部側とのある程度のバランスもあるので、どうやるかについては少し考えていきたいです。あともう一つ、この前議会で副知事が東京と沖縄で 50 周年の式典を開催すると表明されていましたが、同日に開催するのかなど具体的にどういう在り方になるのかもまだちゃんとよく見えていないので、そこも確認しながら進めていきたいです。もちろん県からそういう話があれば私個人ではなく、代表者会議などで相談になると思います。

(記者)

各会派の代表者会議ということですか。

(議長)

はい、私個人の意見ではなく、議会としての部分をまとめないといけないかなという感じはしております。

(記者)

県側から具体的な話はまだないのでしょうか。

(議長)

県側からはまだないです。ただ、こちらはこちらで準備を始めています。全戦没者追悼式についてはこれまでに開催されたものを全部見直しをされていて、去年から約 6 か月かけて文案などいろいろと同じような形式で考えているんですけど、さらに今は復帰 50 周年についても、その前回の式典の挨拶などを今からでもチェックしていこうと思っております。

(記者)

議長は9月に会派おきなわを出られて、中立の立場になられては今回で2回目の議会だったと思いますが、御自身の中で中立という立場になられたことで、他の県議の方たちとの関わりについてや当局との向き合い方など、何かこう変わった点や感じられる部分などはありますか。

(議長)

いや、特にもともと採決には加わっていないのでこの件についても今までどおりです。この件についてはいろいろなところから聞かれますが、私自身としては、今までどおり普通どおりにしているのでそんなに変わった感じはしておりません。また与党のときは、よく議会が始まる前に、知事公舎に集まり1日ばかりで議会について事前に説明などがあるのですが、あれにはもともと私は昔から参加しなかったのです。翁長前知事のときからもその集まりはあったのですが、3年目からは私はもう参加しなかったです。個人的には、議会が始まる前なのにそこで顔を合わせると議会で質問がしにくいなと思い参加はしませんでした。議会が始まる前だけ集まるのではなく、ふだんからこういうのはやったほうがいいという認識を私は持っています。議会で議論し合う前から成立するというのはいかがなものかなと個人的には思っております。

ではこの辺でよろしいでしょうか。来年もよろしく申し上げます。どうもありがとうございました。お疲れさまでした。